

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2015-11-01

APM news 139

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

日本ブックデザイン賞2015

作品展示および授賞式

展示期間:9月6日(日)~9月26日(土)

授賞式:9月12日(土)pm2:30~pm4:30/参加者:97名



初開催の「日本ブックデザイン賞(JBD)2015」。応募総数626点の内、厳選なる審査の結果決定した入賞・入選作品全242点を秋山孝ポスター美術館長岡(APM)に於いて展示した。展示期間中の9月12日(土)には、同会場にて授賞式も執り行った。当日は気持ちの良い秋晴れで、遠方からも多くの方に参加いただき、盛大な式となった。

授賞式では、まずAPM館長・審査委員長の秋山孝が開催主旨及び関係者への感謝を述べた。祝辞は、当館運営委員会会長・審査員の豊口協、公益財団法人長岡芸術文化振興財団専務理事の神林茂氏からいただいた。豊口は、ブックデザインは、作家と読者との間に立って本の中身を表すカギを正確に伝える重大な役割を持っている。それは、ポスターも同様であり、ブックデザインもポスターも、人と人を結びつける重要な役割を持っている。それに挑戦した応募者の勇気を讃えたいと語った。神林氏は、今回の応募総数を見て、長岡でもこれほどの規模のコンペティションを開催した事に敬意を表したい。今、世の中の動きは「地方創世」である。「文化」を地方創世計画の潤いのひとつに位置づけることでその地域のアイデンティティーが上がる、とJBDが長岡から発信されることへの期待を込めたコメントをいただいた。協賛いただいた北越紀州製紙株式会社長岡工場長の谷口喜三雄氏は、「紙の本」が持つ魅力、「紙の本」だからこそ伝わる文化がそこにある。「JBD」を通じて、「紙の本」の魅力がもっと大きくなることを願っているというご祝辞をいただいた。

続いて賞状授与を行い、グランプリには副賞として賞金20万円が、金の本賞受賞者には、日本酒「エル・チアキ」が贈呈された。この日本酒は、APMサポーターズ倶楽部法人会員である新潟銘醸株式会社より提供いただいた。受賞者を代表して、グランプリを受賞した大町駿介氏は、「全国各地の古い建造物を巡り、研究を行なっている。今回受賞した作品も、その研究成果の1つである。このような研究内容はなかなか世間から注目されないと憂いているが、今回、グランプリという評価を受けたことに感激している。」と受賞の喜びを語った。

式典の後は、懇親会を開き参加者間の交流を図った。長岡市長・森民夫氏からは、このようなコンペティションを長岡で開催したことへの感謝と、更なる発展への激励の言葉をいただいた。会場では、遠方からの参加者のために、地元の名産を並べ長岡の味を楽しんでもらった。美味しい地酒を片手に、展示作品に囲まれながら楽しく会は進み、審査員より直接、作品に関して意見をもらう受賞者の姿も見受けられた。

授賞式以外にも展示期間中は、様々なメディアでJBDのことが紹介され、多くの来館者があった。

APMではこれまで様々な活動を行ってきたが、JBDは大きな新しい試みである。初開催をした結果、多くの方より賛同および激励の言葉をいただくことができた。ますます発展していくことを目指し、今後もJBDを開催していく予定である。(たかだみつみ・APM学芸員)